

Big Life

MONTHLY MAGAZINE

企業経営の進化を考える
エグゼクティブのための人間情報誌

<http://www.biglife21.com>

21

「経営者」とは、
企業とともに生きるもの
株式会社坂戸工務所

ものづくり企業のあり方とは
日高工業株式会社

「自動車産業」を陰で支えた70年
「ナットがつかない車と企業」
株式会社杉浦製作所

オリジナリティを追求する「発明経営者」
加茂精工株式会社



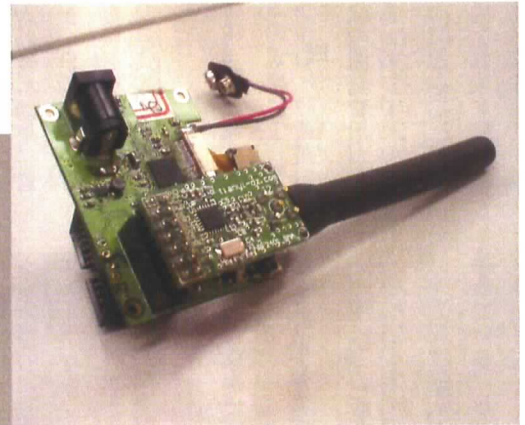
2008
July

7

「見える化」技術で 社会に貢献

代表取締役社長 野口 智樹 氏

コンピュータの普及とともに多くのIT企業が誕生した。しかし、いまでは勢いも弱まり、ひっそりと姿を消していった企業も少なくはない。こうしたなか、ITとものづくりとを融合させ、果敢にビジネスチャンスを探っている企業がある。



SMS事例—自動検針システム向けの携帯端末と小型無線カメラ <http://NTuS.NET/sms/wcm/>

EMS-JP グループとの連携により実現した携帯端末。自動検針システム向けに、小型カメラ画像を無線で取り込むシステムが廉価に実現。(2008年4月、日刊工業新聞へ掲載)

「コンピュータとの出逢い」

「高校時代にIT企業の経営者になることを決意し、現在の社名もそのころに考えていたものです」と語るのは、株式会社NTマイクロシステムズの代表取締役社長、野口智樹氏だ。

若干15歳の少年が心に描いた将来の夢は、いま、現実のものとなり、独自のビジネス戦略で躍進している。

NTマイクロシステムズは、2001年にソフトウェア・ハードウェア開発のIT企業として横浜市で創業し、翌2002年、増資にともない株式会社へと改組。続く2003年には東京用賀に窓口となるオフィスを開設するなど、急速な発展を遂げてきた。しかし、野口氏は言う。

「起業してから4年間は黒字の倍々成長で順調だったものの、その後3年間は赤字経営が続き、苦しい現実と向き合ってきました。滑り出しが好調だったこともあり、人員を急激に増やして、新宿超高層ビルへオフィスを新設し、社内管理体制を強化すべくISO9001の取得や上場準備など、勢いに任せて一度にいろいろなことにチャレンジしてしまったことが仇となったのです」

こうして窮地に立たされたNTマイクロシステムズは、黒字経営へと転換させるべく事業の柱を構築するため、「センサ・マネジメントシステム」の開発をすすめていった。



Profile

野口 智樹 氏

のぐち ともき

1968年生まれ、宮崎県出身長崎県育ち、39歳。1988年に地元の高校を卒業後、都内の制御系ハード会社へ勤務、各種検査装置の組み込みソフトの開発を担当する。1992年には神奈川県のパンチャー企業へ勤務し、各種制御装置のソフト・ハード開発を担当。その後、1996年から一部上場企業の総合研究所にてものづくり、企画、管理職を経験。2001年、現株式会社NTマイクロシステムズを設立、代表取締役社長に就任、現在に至る。

センサ・マネジメントシステムとは

センサ・マネジメントシステムについて、野口氏はこう説明する。「あらゆるセンサを統一的に接続することでデータの収集を可能にするSMSゲートウェイと、収集したデータを分析・意味づけして『見える化』をおこなうアプリケーションサーバとで構成されています。このシステムは具体的にどう活用されているかというと、たとえば、お店の入り口にセンサを設置し、来店者数を管理したり、陳列棚にセンサを設置することで、通行者数や滞在時間、商品別の売上などを記録することができます。さらに、これらのデータは一つのコンピュータ画面で目標達成度が一目瞭然で分かるように管理・閲覧・分析できるため、的確な判断が可能となります。あらゆるセンサで

人の仕事を軽減することで本業に集中できるために、確実な売上アップに貢献できるという仕組みです」

現在では、大手企業のOEM製品としておもに店舗への導入がすすめられているのだが、ほかにもポスターや看板の掲示効果、ショールームの展示効果、倉庫などの物品管理・監視、自動車ETC顧客識別システム、自動検針システムなど、あらゆる分野での活躍が期待できるシステムとなっている。

さらに特筆すべき点は、導入コストについてだ。「システムの規模によって多少前後はありますが、既存のもので数百万円〜数千円単位の開発費用がかかっていたシステムが、わが社のシステムであれば約10分の1に抑えることが可能です」と野口氏。大幅なコスト削減を実現させている背景には、利用者がシス

テム運営に必要なソフトを買い取るのではなく、月々の使用料をNTマイクロシステムズへ支払うことで、利用したいソフトに必要なときに利用できるという仕組みにある。

「われわれは起業してからこれまで、さまざまなソフトとハード技術

によるものづくりをおこなってきました。センサ・マネジメントシステムは、これまで培ってきたノウハウを活かした、まさに集大成といえる商品だと自負しています」と野口氏は力強く語る。

センサ・マネジメントシステムは今年から本格的に販売を開始、直後からそのユニークな商品思想により、テレビ・新聞メディアから取材されるなど市場での関心は高く、各分野の企業からも日々新規の引き合いが殺到しており、順調な滑り出しをみせている。

人とのつながりを大切に

一度はどんだ底を味わったNTマイクロシステムズだが、センサ・マネジメントシステムの登場により、新たな光が差し始めている。しかし、野口氏はいたって冷静だ。



http://www.ems-jp.net/

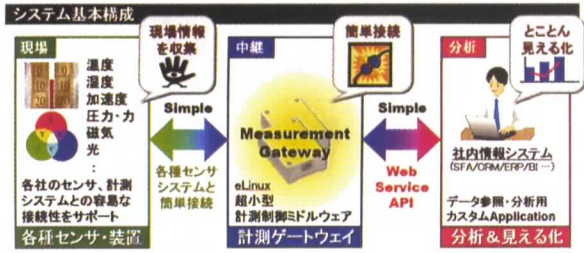
EMS-JPグループ(ものづくりの中小企業連携体)EMS-JPには、電子回路・ソフトウェア・基板・筐体の設計・製造・検査などの「ものづくり」各分野に強みを持った300社以上の企業が参画しており、当社はグループの運営と経営にも参画している幹事企業の一社です。



http://NTUS.NET/

自社Webサイト

これまで少数精鋭でハードとソフト両面における幅広い豊富な開発実績を重ねてまいりました。複雑なシステムでも最適な技術要素を切り分けて、お客様に最適なシステムを迅速かつリーズナブルに「ワンストップ」でご提案することが最大の得意分野です。



SMS (センサ・マネジメントシステム) <http://NTUs.NET/sms/>
SMSをベースとして、センサを用いた『見える化』のシステムが、迅速かつローコストに実現できます。(応用システム累計1000程度の出荷実績)

▶ヒトの動き(動線)から商品などの注目度を計測・分析。現場情報を各種CRM等のデータベースへ集約し、高度な分析と柔軟なカスタマイズが可能。(2007年11月、テレビ取材)



SMS 事例一注目度分析システム

<http://NTUs.NET/sms/ppa/>

NTマイクロシステムズは、なかでもEMS-JPグループのシステムを運営する中核として、積極的な活動をおこ

活発に活動している。全国300社以上の企業が登録して日々

グループ企業の総合力で勝負

NTマイクロシステムズは、EMS-JPグループの会員企業でもある。EMS-JPグループとは、高い技術力を有した中小企業が集結し、グループ企業間のネットワークを活かした主に電子機器開発・製造に特化した集合体で、現在、

「高校時代にパソコン部を創設したのですが、スタート当初は50名ほどいた部員も、最後のほうには10名になってしまいました。そのときに、人のつながりの難しさというのを感じました」と言う野口氏。そして、その苦勞は、起業後にも経験することとなった。

「一時は40名いた社員も、現在では10名になりました。正直、私の未熟さから毎日挫折を味わっているような状態ですが、お客さまから『ありがとう』と言われること、社員の笑顔を見ることが、私にとって何よりのエネルギーとなっています。そして、さまざまな人とのかわりをこうして味わえることに、楽しさを感じています。『若いうちの苦勞は買ってでもしろ』とよくいわれますが、私自身、喜んでこうした苦勞をして、より深く、年輪を重ねていきたいと思っています」と野口氏は笑顔で話す。

なるという。NTマイクロシステムズは、製品開発から量産対応に至るまで、すべてをこなしていくことは至難の業です。そこで、グループ会員企業がお互いにアドバイスしあいながら、それぞれが専念したい技術にさらに特化できるような環境づくりを会員の皆さんと一緒に構築したのです。そして、EMS-JPグループを通じて、若い起業家にもチャレンジの場を積極的に与えていきたいと考えています」と野口氏はEMS-JPグループの存在意義を語る。

これにより、顧客もEMS-JPグループの会員企業に依頼すれば、開発から試作、量産に至るまで、電子機器開発にかかわる全てを一任することが可能となる。

失敗と挫折をバネにつねに前進

「私はこれまでに小企業から大企業に至るまで、さまざまな企業でいろいろな角度からものづくりとかかわってきましたが、NTマイクロシステムズを設立しようと考えたその根底には、単なる技術オタクではない、真の『起業家を生み出す器をつくりたい』という強い思いがあります」と話す野口氏。

そして、2012年を目標に、さらなる飛躍を目指し、上場も視野に入れていくという。コンピュータの普及とともに、多くのIT企業が誕生したものの、姿を消して

しまった企業も少なくはない。そのなか、NTマイクロシステムズは、紆余曲折はありながらも、ITとものづくり技術を融合させながら、時代の一歩先をいく経営戦略でここまでの成長を遂げてきた。

野口氏は言う。「これからだって、良いときもあれば悪いときもある。その両方を経験しながら起業家として成功するまで諦めずに人間力を高めていき、常に素直に人生を楽しみながら愚直に前進していきます」

どんな優秀な企業でも、どれだけ成功を収めてきた経営者でも、幾度となく味わったであろう失敗と挫折。しかし、その苦い経験を「経験値」として活かすことができるものだけが、成功を手にすることができるのだ。

「センサ・マネジメントシステムの技術を活かし、究極的には人体内部で健康度をリアルタイムに見える化するシステムで、健康な社会をつくってヒトの生産性向上に貢献したい」と意欲をみせる野口氏。NTマイクロシステムズの動向から、ますます目が離せない。

株式会社NTマイクロシステムズ

〒158-0096
東京都世田谷区玉川台1-5-3-2F
TEL 03-3700-4751
<http://NTUs.NET/>